

2. カナダ

■正式国名：カナダ

Canada

■政治形態：立憲君主制（国家元首は英国のチャールズ3世）

■面積：998.5万km²（世界第2位、日本の約26倍）

■人口：3,845万人

■言語：英語（公用語）、フランス語（公用語）

■通貨：カナダ・ドル（1カナダ・ドル=110.0420円）

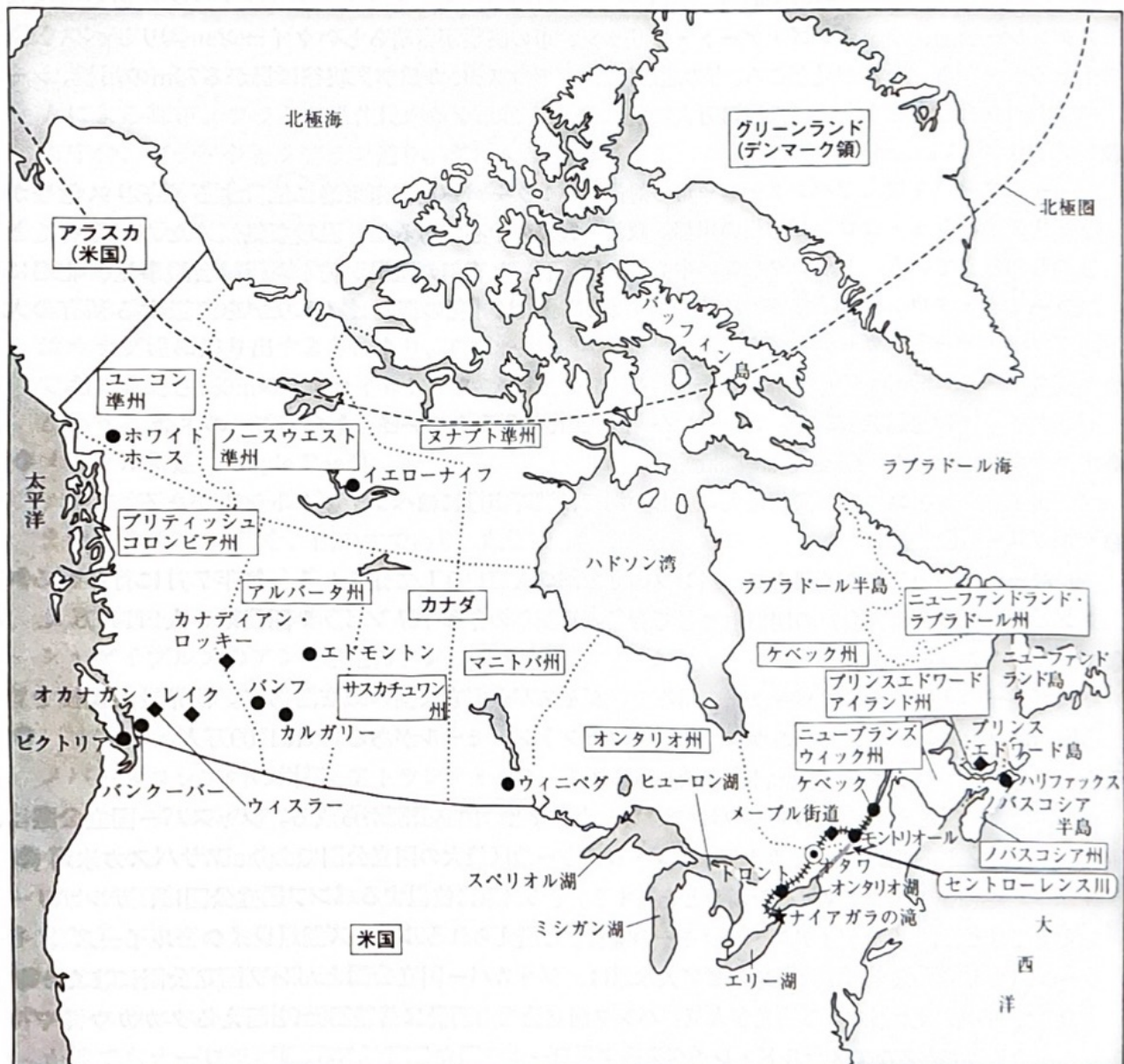
■住民：ほとんどを占める白人のうち、イギリス系が30%、フランス系が24%、他が15%となっている。

フランス植民地時代以来、特にケベック州ではフランス語を話し、フランス文化を固守しており、イギリス系住民との対立問題も解決していない。アメリカ先住民やイヌイットはわずかに過ぎない。

■宗教：カトリック、英国国教会など。

■地勢：太平洋岸沿いにカナディアン・ロッキー山脈が南北に走り、中央部は南北に広がる大平原であり、南部はグレート・プレーンズと呼ばれ、カナダ第1の農業地帯となっている。東部はカナダ楯状地と呼ばれる丘陵地帯を成し、北部は北極海に臨み、不毛の荒野が広がる。

■気候：全般に冷涼であり、内陸部は寒暑の差が大きい大陸性、北部はツンドラ地帯で極地気候。



(注) ++++++は観光街道を表す

- ☐ **観光**：オーロラ観察ツアー（イエローナイフ、ホワイトホースなど）。スノーモービルツアー。カリブー（トナカイ）観察ツアー。メープル街道巡り。長距離列車カナディアン号（バンクーバー～トロント）
- ☐ **名物料理**：サーモン料理。アルバータビーフ。ケベックのトゥルティエール（豚肉入りパイ）
- ☐ **土産品**：メープルシロップ。サーモン製品。ワイン。カウチンセーター。ウェスタングッズ
- ☐ **アトラクション**：ナイアガラの滝。プリンス・エドワード島。スキー（ウィスラー、ブラッコム、カナディアン・ロッキー、トンプソン・オカナガン）。イルカ・ウォッチング

◎オタワ（Ottawa）

1827年に運河建設を機に発展し、1867年に首都となった。オタワ川沿いに位置する美しい計画都市。観光の中心はコンフェデレーション広場とそれに隣接する国会議事堂、リドー運河、パイワード市場など。人口107万人。

●バンクーバー（Vancouver）

1884年にカナディアン・パシフィック鉄道のターミナルとして発展したカナダ太平洋岸の玄関口となる港湾都市。商工業・金融の中心地でもある。市発祥の地ギャスタウン、ダウンタウンにある広大なスタンレー公園、ライオンズ・ゲート・ブリッジ、市の眺望が素晴らしいクイーン・エリザベス公園、チャイナ・タウンなどが見どころ。市の北部には、グラウス山、カピラノ峡谷に掛かる70mの吊橋、シーモア山州立公園などがある。人口71万人。

●ビクトリア（Victoria）

ジョージア海峡を挟んでバンクーバー市の対岸、バンクーバー島の南東端に位置するイギリス色豊かなブリティッシュ・コロンビア州の州都。政治・経済の中心であるが、温暖な気候のため、保養地としても知られている。ダウンタウンの中心部には、石壁と青銅の屋根が美しい州議会議事堂、北端にはチャイナ・タウンがある。ダウンタウンの北21kmには、「花の街」ビクトリアを象徴する私有の大庭園ブッチャート・ガーデンがある。

◆ウィスラー（Whistler）

バンクーバーの北120kmにあるスキーリゾート。2010年冬季オリンピックのスキーの主会場。

◆オカナガン・レイク（Okanagan Lake）

ブリティッシュ・コロンビア州最大の美しい湖で、湖畔南岸にはペンティクトン市がある。

●カルガリー（Calgary）

アルバータ州の南部にある都市で、バンフ国立公園の玄関口として知られる。毎年7月に行われるスタンビード（ロデオ大会）の開催地として有名。1988年の冬季オリンピック開催地。人口141万人。

●エドモントン（Edmonton）

カルガリーの北にあるアルバータ州の州都で、ジャスパー国立公園への玄関都市。世界最大規模を誇る屋内ショッピングセンターのウエスト・エドモントン・モールがある。人口109万人。

◆カナディアン・ロッキー（Canadian Rockies）

カナダ最大の観光地。ジャスパー、バンフ、ヨーホーなどの国立公園から成る。ジャスパー国立公園は、エドモントンを玄関都市とし、カナディアン・ロッキー地区最大の国立公園であり、アサバスカ氷河（コロンビア大氷原の一部）、マリーン湖などを擁する。その南東に位置するバンフ国立公園は、カルガリーを玄関都市とし、「カナディアン・ロッキーの宝石」と讃えられるルイーズ湖（レイク・ルイーズ）、モレーン湖などで人気を博す。コロンビア大氷原は、ジャスパー国立公園とバンフ国立公園にまたがる大氷原であり、雪上車による観光が人気。バンフ国立公園の西隣に落差250mを超えるタカカウ滝や神秘的な美しさで有名なエメラルド・レイクを擁するヨーホー国立公園がある。

●バンフ (Banff)

カルガリーの西約126kmに位置し、カナディアン・ロッキー観光の拠点となる人口7,000人の町。周囲の山には温泉も湧き、温泉保養地としても名高い。バンフの町を見下ろすサルファー山（標高2,285m）やマリリン・モンロー主演の映画「帰らざる河」の舞台として有名なボー川など雄大な自然が見どころ。ルイーズ湖は、この町の西58kmにある。

●トロント (Toronto)

オンタリオ湖畔にあるオンタリオ州の州都。カナダの経済・金融の中心地であり、カナダ最大の都市。ナイアガラ滝へのカナダ側の玄関都市。トロントのシンボルCNタワー（塔の高さ世界第3位553m）、ロジャース・センター（多目的ドーム）、公園とビーチの島トロント島、日曜日のアンティーク・マーケットなどが見どころ。人口303万人。

●モントリオール (Montreal)

セントローレンス川とオタワ川とが合流するモンレアル島にあるカナダ最大の港湾都市であり、工業・商業・金融の中心地。フランス国外のフランス語圏都市としては最大の都市であり、市民の3分の2がフランス系住民といわれている。フランス色豊かなこの町の見どころは、北米最大のゴシック寺院ノートルダム教会、市街が一望できるモンロワイヤル公園、旧市街にある広場プラス・ジャック・カルティエなど。国際民間航空機関（ICAO）の本部があることでも知られている。人口179万人。

●ケベック (Quebec) (ケベック・シティ)

セントローレンス川河口に開けたケベック州の州都。1608年にフランス人が建設したカナダ最古の白人による都市。フランス系住民が多く、北アメリカでは唯一の城塞都市。城塞シタデル、州議事堂、市庁舎、プチ・シャンプラン通り、ダルム広場、ロワイヤル広場、古城ホテル・シャトー・フロントナックなどが見どころ。2月開催のウィンター・カーニバル（雪祭り）は人気の行事。人口56万人。

◆ナイアガラ滝 (Niagara Falls)

アメリカとカナダ国境にある滝であり、エリー湖からオンタリオ湖に注ぐナイアガラ川にかかる滝で世界3大瀑布のひとつに数えられている。落差53m、幅670mの滝。展望台の「テーブル・ロック」はカナダ滝に迫り出すようにあり、真横から滝の流れ落ちる様子を間近で見ることができ、迫力満点である。高さ160mの「スカイロン・タワー」からの眺望やヘリコプター遊覧飛行、「ホーンブローワー」という観光クルーズ船や「ジャーニー・ビハインド・ザ・フォールズ」というアトラクションも人気。

◆メープル街道 (Maple Road)

ナイアガラ・フォールズから、トロント、オタワ、モントリオールを経て東の基点ケベック（・シティ）まで、約800kmの道を、国の木であり、象徴でもあるメープルの名を付けた観光街道。

◆プリンス・エドワード島 (Prince Edward Island)

セントローレンス湾の南部にある平坦な島。カナダ最小の州でもある。モンゴメリーの小説「グリーン・ゲイブルズのアン（赤毛のアン）」の舞台として知られ、アンの家であるグリーン・ゲイブルズ・ハウス、モンゴメリー夫人の生家、プリンス・エドワード島国立公園などが見どころ。

●ハリファックス (Halifax)

ノバ・スコシア州の州都。アトランティック・カナダ（大西洋に面するカナダ）最大の港町。「グリーン・ゲイブルズのアン」の作者モンゴメリー夫人が学生時代を過ごした町でもある。人口48万人。

●ウィニペグ (Winnipeg)

カナダ東西のほぼ中央にある交通の要衝で、マニトバ州の州都。プレーリー地方の中心都市として、穀物及び家畜の大集散地として知られている。人口78万人。

●イエローナイフ (Yellowknife)

ノースウエスト準州の州都で、北緯62度、グレートスレーブ湖畔に位置し、冬だけでなく夏から秋にかけてもオーロラが観賞できる町として多くの観光客が訪れる。